



彩の国プラチナ特別編成合唱団

ちえじゆ 第8回済州国際合唱祭招待演奏

2024 제주국제합창축제엔심포지엄
**Jeju International
 Choir Festival & Symposium**

15 ステージ衣装編チエジユ・コシ

実行委員会 令和6年(2024) 3月18日

Jeju collection

和柄で日本のイメージを演出！

塩崎めぐみ (ソプラノ)



今回、わたしたちはこの済州国際合唱祭のために結成した団体なのでお揃いの衣装はありませんでした。練習初回から「衣装はどうしますか？」という話しがはじまりました。男性は黒タキシード、白ワイシャツ、黒蝶ネクタイ、女性は白か黒のブラウス、黒ロングスカート、といういわゆる第九スタイルならすぐにも揃いますが、ここはやはり日本を代表！して出演するのですからひと工夫したいところです。

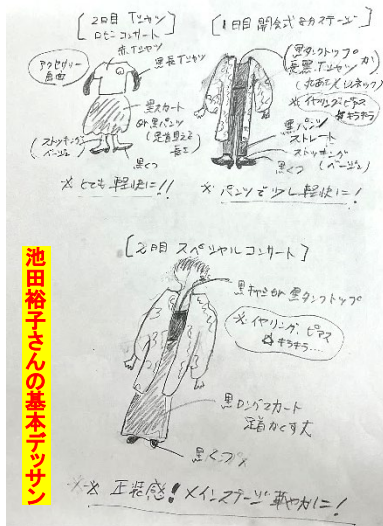


和柄でステージを楽しもう！

国際大会だと、それぞれの民族衣装やお国柄をモチーフにしたものなどを着ることも多いのです。着物や浴衣は着付けも大変なので初めから候補に入れず、でも日本的なものを・・・と、考えているうちに、わたしが所属している女声合唱団が以前海外公演をした時に着用した和柄の羽織ものがあることを思い出しました。布地問屋で縮緬風の生地を買ってきて、各自で簡単に縫っただけのものでしたが、キャミソールドレスの上に羽織ると和風の衣装のように見えるというものです。



{ 和柄衣装 }



練習の時に皆さんに見ていただいたら「ステキね、これにしましょう」と大いに盛り上がりました。そこで、わたしが所属する合唱団メンバーに貸出をお願いしたところ、快く人数分以上が集まりました。赤、黒、緑、青の4種類の羽織ものの下には黒のインナーを合わせ、黒パンツと黒ロングスカートとで、オープニングコンサートとメインコンサートの2回のステージに変化をつけました。

男性の衣装は元々あまり変化がつけにくいので、小物を合わせたかどうかと考えました。女性の和柄の羽織ものに合わせて法被はどうかという意見もありましたが、家電量販店の店員さん感が拭えずに却下。男性の衣装担当の宇佐美平和さん(テナー)が中心になってネットで調べたのですが、なかなかイメージに合うものがなく、またイメージに近いかなと思うと5桁に近い金額で、とにかく難航しました。お金を掛けなくて楽しもうというのが基本コンセプトです。

最後は、男性陣のために布地を買って手作りしよう！となり、衣装を担当しているメンバーで布地屋に行ってみました。そこには思いのほか縮緬風の生地や和風柄の生地がたくさんあるではないですか。その中で舞妓さんの柄の布地の、落ち着いた地色と綺麗な絵柄とが気に入り、即購入しました。この布地を首から下げるストールとポケットチーフに仕立てました。柄が一方に向きがあるので首の後ろで接ぎ合わせて左右の絵柄が上から下に流れるように工夫し、ストール5枚分、残り布でポケットチーフ5枚分が布地から取れました。

一日目の夜に裁断だけ済ませ、翌日朝からミシンをかけてはアイロンをかけて・・・を繰り返し、夕方には無事に5人分のストールとチーフができました。男性陣が5人しかいなくて寂しいと思いましたが、この時ほど5人で良かった！と思ったことはありませんでした。



このストールとチーフは、女性が和柄の羽織ものを着るステージの時に、黒シャツや黒タキシードと合わせて着用しました。また、シルバーの素敵なネクタイは宇佐美平和さんが人数分用意してくれました。

オープニングコンサートの衣装に身を包み…

馬子にも
衣装…(；)



女性陣のお陰で
なんとかカッコが
つきました！

井川弘毅 宇佐美平和 星野英明 加藤良一 江川善裕

元気の出る真っ赤なTシャツ

「みなでお揃いのTシャツ作りたいね」という話しも当初から持ち上がり、これは池田裕子さん(アルト)と森川真弓さん(メゾソプラノ)が担当してくれました。綺麗な赤地のTシャツです。胸元には「たまりん」のイラストが、背中には「彩の国 Platinum Special Chorus in Jeju」の文字がプリントされています。「たまりん」とは、埼玉県合唱連盟のオリジナルキャラクター、埼玉を代表する勾玉^{まがたま}風のキャラクターが楽譜を持って歌っている楽しいデザインです。



このTシャツは黒のボトムスを合わせて、ラマダホテルでのロビーコンサートの時に着用しました。元気で明るくラフなステージに合っていたのではないのでしょうか。日本らしさを出しつつ品格のある衣装で、なるべくお金をかけずに3回のステージに変化をつけて・・・とだいぶ欲張ってしまいましたが、最終的にはこの衣装が華やかで良かったと感じています。

(衣装担当:南めぐみ、宇佐美平和、池田裕子、森川真弓、塩崎めぐみ)



埼玉県章

※埼玉県章は勾玉16個を円形にならべたもの。勾玉は、古代人が装飾品などとして大切にしたもの。埼玉県名の由来である「幸魂」の「魂」は、「玉」の意味でもあり、勾玉は、埼玉県にゆかりの深いものとなっています。また、勾玉を円形に配置したデザインは、「太陽」「発展」「情熱」「力強さ」を表しています。





jejuinternationalchoirfestival

Jeju Island, South Korea



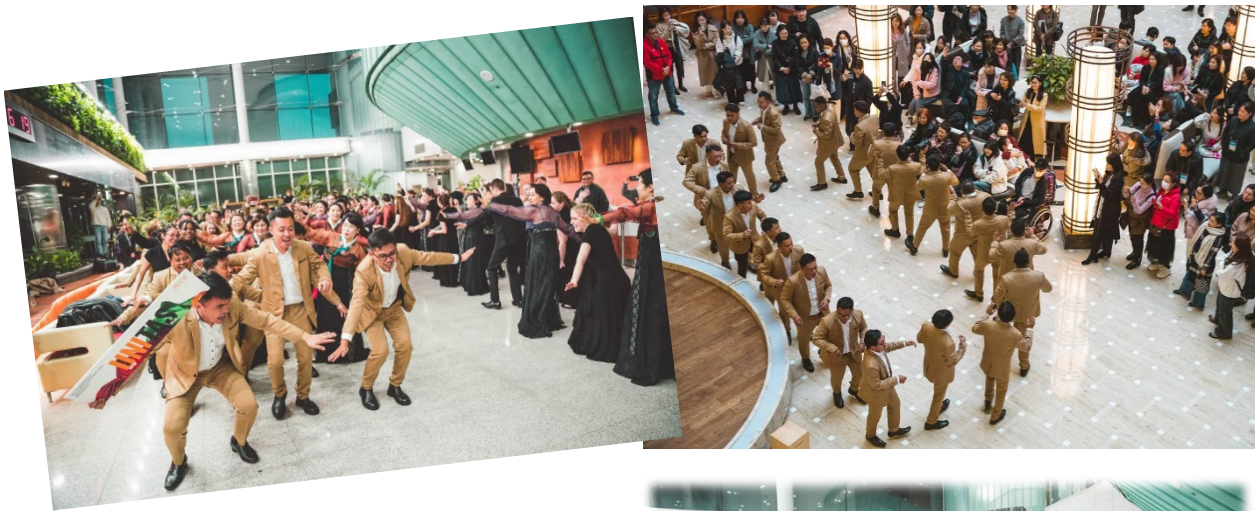


UNITAS

和合









第8回済州国際合唱祭参加 彩の国プラチナ特別編成合唱団実行委員会
江川善裕(代表幹事)、南めぐみ(芸術監督)、森川真弓(総務)、加藤良一(広報)

[Back](#)

[彩の国プラチナ混声合唱団TOPへ](#)

[Home](#)

[HOME PAGEへ](#)